

## 小平市の福祉的な交通体系のあり方を考える情報交換会（第 11 回）

日時：令和 7 年 12 月 12 日（金）午後 2 時～3 時

会場：健康福祉事務センター 第 3・4 会議室

### 参加者（団体）の近況等

#### <福祉有償運送事業者>

・コロナ禍が落ち着いて利用者は増えてきているが、物価や最低賃金の上昇により運転手の賃金を上げざるを得ない状況で、今年から利用料金の引き上げをした。経営状況は収支のバランスがとれておらず、非常に厳しい中であるが、小平市の福祉の一翼を担っているとの気概で事業を続けていきたいと思っている。

・今年度になってから特に利用者からの問い合わせが増えている。その理由は一般タクシーの予約がなかなか取れないことや、タクシー料金が上がって利用しづらいということがあると思われる。

・福祉有償運送事業においても、燃料費の高騰や人件費の上昇により、利用料金の値上げをせざるを得ない状況である。今後、高齢者は増えていき、利用ニーズも高まると思うが、福祉有償運送事業だけでは限界があるので、市にはタクシー券の拡充等の対策をお願いしたい。

・ドライバー不足が大きな課題となっている。少ない人数のドライバーで多くの利用者に対応しているが、時間的余裕がないため安全な運行にリスクが生じる可能性がある。また、経費として雇用を増やすのは難しい上に、ドライバーには運転技術だけでなく介護の資格取得も求められるため、人材雇用はさらにハードルが高い。

・会員数は 40 名程度であるが、ドライバーは皆他の事業との兼務をしており、業務が切迫している状況である。また、若い人材を採用してもハイエースやキャラバンなどの大型車両の運転ができないことがあり困っている。

#### <介護タクシー事業者>

・利用者は高齢者が多く、通院が目的のため平日の午前中に集中する。介護タクシーは個人経営の事業所がほとんどで、所有する車両は 2～3 台であるため、予約が集中すると対応できないことがある。その場合の対応として、近隣市の事業者に応援を依頼することもあるが、予定が分かり次第、できるだけ早めに予約をしていただくことをお願いしたい。

- ・タクシー券の利用頻度については個人差があると感じている。すぐに使い切ってしまう方もいれば、年度末になっても束で持っている方もいる。難しいと思うが、必要としている方にうまく配分できないものかと思う。

- ・利用者から車椅子でも利用できる飲食店や美容室を教えてほしいと聞かれることがある。小平市内の飲食店や美容室の情報がわかる資料や検索できるアプリがあればありがたい。

### ＜タクシー事業者＞

- ・最近が高齢者の利用が非常に多く、車椅子に乗ったまま乗車できる車両はないかという問い合わせが増えている。車椅子ごと乗車できる車両については、車内の椅子を倒したり、スロープを出したりと準備が必要で、20分くらいの時間を要するため、乗降場所によっては渋滞の原因になってしまうこともある。また、対応できる車両の台数も少ないため、市の端から端まで走らせて配車させたこともあった。

- ・ドライバー不足とドライバーの高齢化が深刻で、75歳以上のドライバーが増えている。高齢になってくるとどうしても反応が鈍ってくるため、健康な方でも安全運転に支障をきたす状況であれば退職せざるを得ないこともある。高齢ドライバーに対しては、半年ごとに添乗指導を実施しているほか、毎年適正診断を行っている。

- ・最近、駅や市役所などでの待機するタクシーが見られなくなったとの話があるが、アプリによる利用が浸透してきていることが理由として考えられる。これまでの会社の無線に加え、アプリでの配車依頼が次々に乗務員に送信されてくる。乗務員からすれば回転率が上がり、売り上げ効率も上昇するため良いのだが、駅などの場所で待機する車両が減っている。

### ＜利用者代表＞

- ・身体に障がいがある人にとって、小型タクシーは乗り降りがしづらく困っている。乗務員によってはサポートしてくれる方もいるが、できれば乗務員の方に福祉の研修を受けていただきたいと思う。

- ・先日、ボッチャの大会が市内であったのだが、当日に福祉タクシーの予約が取れず会場に行くのに困ったという声があった。大会に参加するメンバーが確定するのは2週間前になるため、早くからの予約が難しい。

- ・コミタクは朝9時から夕方6時までの運行なので、利用できる時間帯が限られている。先日の市民懇談会では、幼い子供がいる母親からも自転車での移動は大変との意見があった。

- ・最近アプリのタクシーを利用したが、地域のことがよくわからない運転手がいて、遠回りをされたり、目的地までの行き方を聞かれることもあった。
- ・運転手の氏名が伏せられていることがあり、視覚障がい者は顔の確認ができないため、慣れている運転手かどうかの認識ができず不便に思うことがある。
- ・歩行器で移動する高齢者が多いと思うので、タクシー利用の際には乗務員に協力をお願いしたい。